

研究所だより

第 132 号 令和 6 年 5 月

発行：草津市立教育研究所

「チーム研究所として、支援を続けます」

草津市立教育研究所 所長 小林 悦子

今年四月より草津市立教育研究所 所長に就任しました 小林 悦子です。どうぞよろしくお願いいたします。

本所では、今年度も四つの事業を推進していきます。

一つ目は、教育相談事業です。不登校児童生徒は全国的にも増加傾向にあり、本市においても例外ではありません。やまびこ教室では、学校に行きづらい子どもたちが通所し、将来の社会的自立に向け、小集団での活動を体験し、コミュニケーション力等を身に付けていきます。昨年度、やまびこ上笠教室をオープンし、より広域から通所がしやすくなりました。利用者、電話相談や教育相談の件数ともますます増加しています。「不登校の子どもたちの保護者の集い」も年三回開催し、たくさんの方に参加していただきました。また、昨年よりマルチメディア学習ソフト「天神」を導入し、学習補完として活用しています。不登校児童生徒を、やまびこ教室および学習ソフトの利用とつなげていくことで、より効果的な支援をしていきたいと考えております。今年度は、教科を拡充し、小学校六教科、中学校五教科の学習ができるようにしました。ぜひ、一度ご覧いただき、学校に行きにくい子どもたちの通いの場の一つとして、活用いただければ幸いです。

不登校の未然防止や早期発見に向けて、教育研究所のスーパーバイザーによるモニタリングを実施し、先生方を支援する事業もしています。お気軽にご相談ください。

二つ目は、教員の研修事業です。令和 4 年の法改正により、教員ごとに「研修等に関する記録」を作成することが制度化されています。夏季休業中の研

修や放課後の時間帯での自己啓発講座など、今年度も多数の講座を準備し、先生方のご参加をお待ちしております。魅力ある学校づくりのためにも、主体的な資質向上・能力開発の機会としていただきたいと思います。

三つ目は、スキルアップ事業です。アドバイザーを一名増やし、4人体制で「授業づくり・学級づくり」「ICT 支援活動」を実施します。学校訪問、授業参観を通じて、具体的なアドバイスをを行い、教師力全体の向上を図ります。教育研究奨励事業も行っております。日ごろの実践を論文にまとめ、自らの教育力向上を図っていただきたいと考えておりますので、積極的な応募をお願いします。

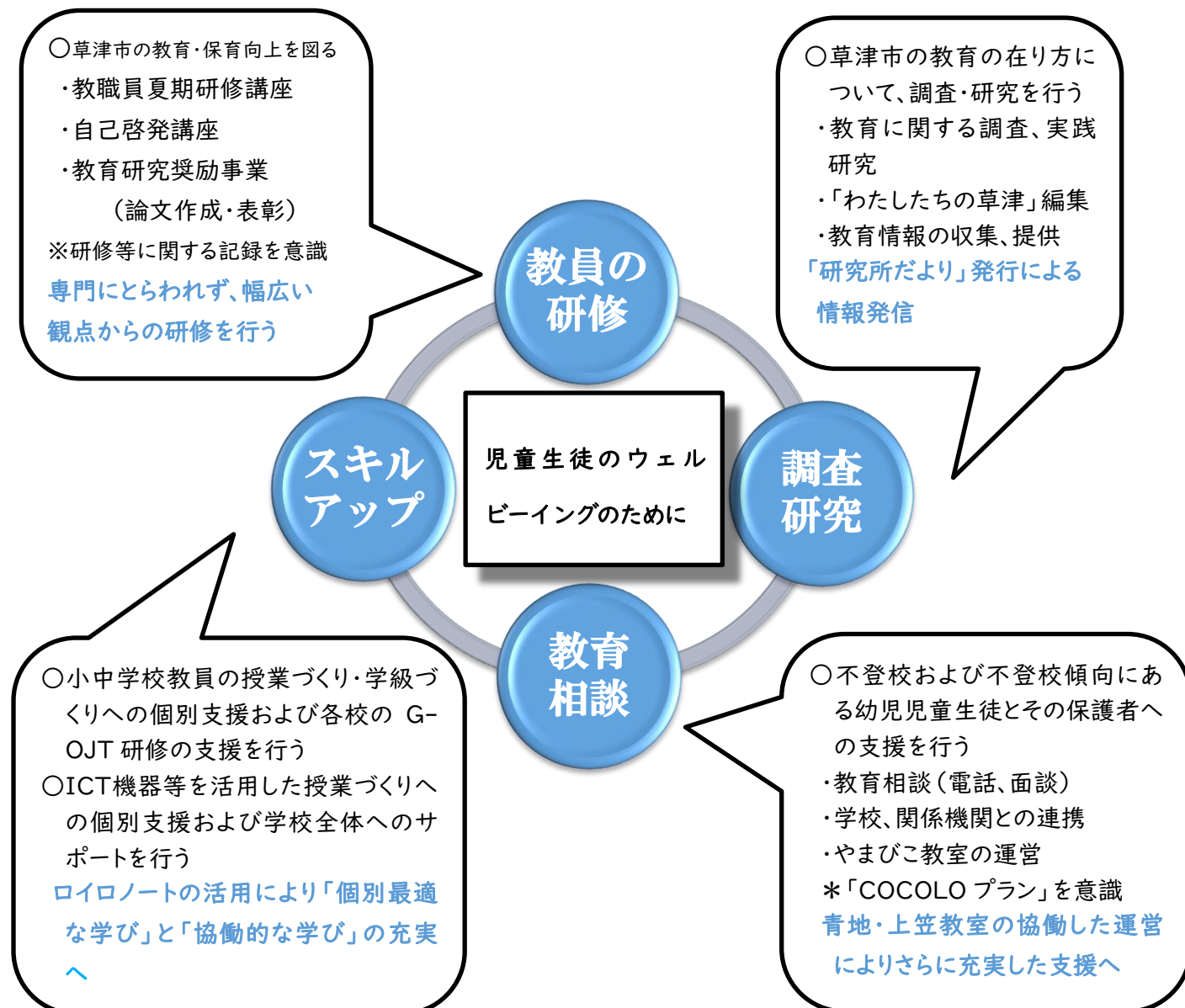
最後に四つ目は、調査研究事業として、研究員による調査研究と草津市内の小学校の社会科副教材「わたしたちの草津」改定作業を行っています。また教育関連書籍の貸出や展示会も行っております。

様々な事業を推進しながら、不登校児童生徒への支援の充実、学び続ける先生方への支援に「チーム研究所」として真摯に取り組んでまいります。

今年度も皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



令和6年度 草津市立教育研究所 理念図



令和6年度 教育研究所事業紹介

研究奨励事業

- ・昨年度、小学校・中学校・こども園、保育所より30点の応募がありました。本年度も3部門（ステップアップ研究部門、フレッシュ研究部門、就学前教育研究部門）で実施し、教育研究のより一層の広がりをめざします。
- ・すべての所、園、学校からのご応募をお待ちしています。要項をよく読んで応募してください。



研修講座

- ・夏季休業中（7/22～8/2）に夏期研修を行います。研修等に関する記録を意識して、積極的な参加をしてください。
 - ・夏季休業中（8/2）には、研究所にて研究発表大会を開催します。
 - ・実技を中心とした自己啓発講座も実施していきます。
- ※講座内容・講師などは、決まり次第、詳細をお知らせいたします。

【教育課程に関する調査・実践研究】

不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の在り方に関する研究
～登校支援室の運用と教職員の関わりを通して～

- ・不登校児童生徒に関係する教職員や登校支援室などを中心に研究していきます。



【地域教材に関する調査・研究】

- ・小学校3・4年生向け社会科副読本「わたしたちの草津」の編集委員会を立ち上げ、今年度は令和8年度から使用開始できるように副読本の一部改訂を行います。

調査研究

スキルアップ事業

- ・担当学校を訪問し、授業づくりや学級づくりなどに関する個別指導やグループ指導を行います。また、全校・学年別・教科別などの授業研究会を通して、学校全体の指導力の向上を目指します。

授業づくり・学級づくり担当

清水 康行（志津・志津南・渋川・矢倉・玉川・笠縫・常盤・草津中・玉川中・新堂中）

山崎 賢（草津・草津第二・老上・老上西・南笠東・山田・笠縫東・高穂中・老上中・松原中）

ICT活用支援担当

仲野 忠克

糠塚 一彦（すべての小・中学校）

私たちもよろしくお願いします！

所長：小林 悦子

指導主事：岡崎 仁志

研究員：玉木 裕



教科書展示会のお知らせ

期間 6月5日(水)～6月28日(金)

火～土 10:00～18:45

*最終日は、～12:00まで

(日・月・祝日は休室)

場所 UDCBK(野路一、西友南草津店1階)

やまびこだより

草津市では不登校対策が喫緊の課題となっています。教育支援センター（やまびこ教育相談室）では「不登校等、児童生徒への支援の充実」をスローガンにSSW（スクールソーシャルワーカー）を継続配置するとともに、昨年度からやまびこ教室は「青地教室」に加えて「上笠教室」を開設し、市内各学校との綿密な連携のもと、児童生徒、保護者へのさらなる支援の充実、強化をめざします。

やまびこ教育相談

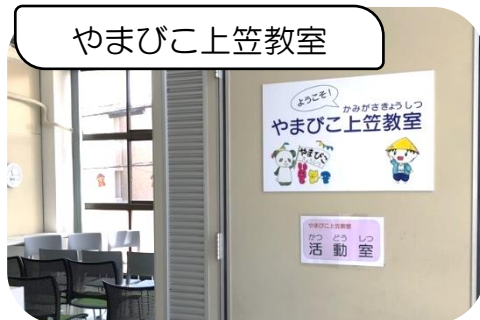
さまざまな悩みを抱えている子どもや保護者は、安心できる場所で自身の思いを語り、少しずつ現状を客観視できるようになります。相談者自身が本来持っている力を発揮し、解決に向けての方向性を見出していけるよう一緒に考え支援します。

教育相談室



（写真は青地教室）

やまびこ上笠教室



子どもが自分の思いを適切な言葉で語れない場合、遊びなどを通して相談員との心の交流を図り、気持ちが自由に表出されるよう支援します。結果的に子どもの心が癒され情緒が安定するようになります。ここからやまびこ教室へ繋げていきます。

やまびこ教室

『やまびこ教室』は、学校に行きにくい状態にある子どもたちが学校復帰や社会的自立を目指してさまざまな活動に取り組みます。昨年の5月1日から新たに「上笠教室」を開設し「青地教室」と併せてさらなる支援の充実、強化を図っていきます。

やまびこ青地教室



スタッフ紹介



中谷 仁彦
(青地教室)



西澤 留美子
(青地教室)



藤井 弘美
(青地教室)



沢本 まゆ子
(青地教室)



角 玲子
(上笠教室)



小川 絹子
(上笠教室)



恒松 睦美
(SSW)

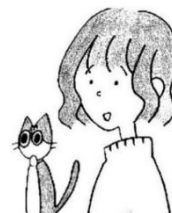
スクールソーシャルワーカー SSWよりお知らせ

福祉の専門家です！

これからいろんなケースや出来事について専門的な視点から支援していきます。少しでも、先生方のお役に立てればと思います。よろしくお願いします。

～SSW（スクールソーシャルワーカー）とは？～

ソーシャルワーカーは、地域の病院や福祉施設、行政機関等様々なところで働いています。この中で、学校を基盤に児童・生徒の抱える様々な課題に対して環境面からのサポートを行うことで、彼らのウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態で、個人の権利や自己実現が保証されている状態）を目指すのが SSW です。不登校、いじめ、虐待、不適切養育、暴力行為、友人関係トラブル、非行、教職員との関係や心身の健康に関する問題などあらゆる課題が支援の範囲となります。心理の専門家である SC（スクールカウンセラー）とも互いの専門性を生かしながら連携し、共に課題解決を目指します。



どうぞよろしくお願いします。

～林野佑亮・自己紹介～

今年4月より草津市の SSW として勤務する 林野 佑亮 です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。昨年までは大学において児童福祉を中心に社会福祉を学んでおりました。

私が大学に進学したのは 2020 年のちょうど新型コロナウイルス感染症が流行した年でした。楽しいキャンパスライフは味わうことができなかったのですが、人と直接繋がることができる有難みやインターネットを上手く活用する方法等を学ばせてもらったと思います。

私自身かつて1年ほど不登校になっていた時期がありました。あの時のことを振り返ってみると、自分の思いや願いを誰も聞いてくれない、理解してくれないといった状況で今でも考えると苦しくなります。私はこの苦しみを他の子どもたちに味わってほしくないという意志から SSW を志しました。しんどさを抱える児童生徒のつらさや願いを理解し受け入れるといった「寄り添う支援」を重視していきたいと考えております。

SSW という存在は先生方や関係機関の皆様方との連携があって力を発揮できる存在だと思います。だからこそ、できるだけ支援対象となる児童生徒やそのご家庭の情報を共有し、より良い支援につながるよう「チームとしての学校」の一員として連携させていただきますようお願い申し上げます。



シリーズ

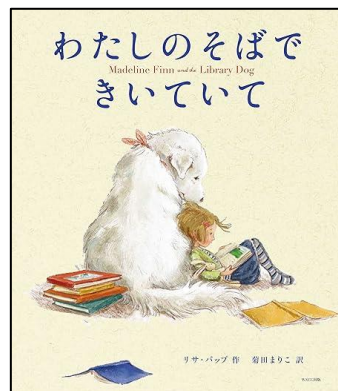
司書さんおすすめの絵本



「わたしのそばできいていて」 リサ・パップ／作 菊田 まりこ／訳（WAVE 出版）

字を読むのが苦手なマディは、国語の時間が大嫌い。音読があたると、つかえたりして、みんなに笑われてしまうからです。先生に「よくできました」の星のシールをもらいたくて頑張りますが、上手くいかず自信を失くしてしまいます。そんな時、マディは図書館のテンブルさんから、犬のボニーに「本を読んであげて」と頼まれます。

急かすことも、叱ることもなく、ただ待つボニーの姿に、大人ははっとさせられるでしょう。『自分はダメだ』と思い込んでいる子に、そっと寄り添ってくれる作品です。

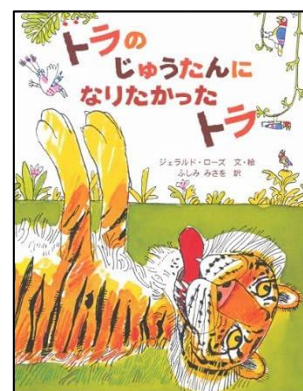


「トラのじゅうたんになりたかったトラ」

ジェラルド・ローズ／文・絵 ふしみ みさを／訳（岩波書店）

年をとり痩せ細ったトラがいました。ある日、トラは宮殿の庭に干してあったトラの毛皮のじゅうたんに入れ替わり宮殿に入り込むことに成功します。毛皮のじゅうたんになりすましたトラは、じっとしているだけで王様たちのご馳走の残りを食べることができるので、『絶対ばれないようにするぞ』と心に誓いました。

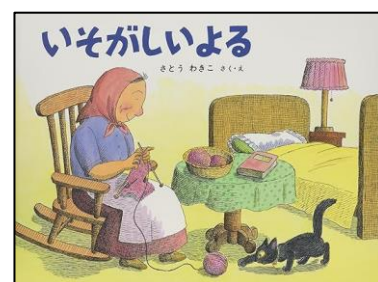
自分の幸せを守るため、何があっても動かす必死に耐えるトラでしたが、最後はある人を守るために勇敢な姿を見せてくれます。トラの豊かな表情にも注目してください。



「いそがしいよる」 さとう わきこ／さく・え（福音館書店）

星が綺麗な夜、ばばあちゃんは、ゆり椅子を外に出して星空を眺めることにしました。すると、綺麗な月も出てきて、今度は外で寝ようと思いつきます。まずはベッドと毛布と枕を出し、その後は、お茶のセットにレンジ、冷蔵庫、たんす、と次から次へと家から持ち出していきます。

ばばあちゃんの奇想天外な発想と行動力は、子どもに驚きを与えるとともに想像力を刺激してくれるでしょう。本書は第1作目ですが、長年読み継がれてきた「ばばあちゃん」シリーズは、季節や行事に合わせて楽しめます。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。